



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 329
August
2020

トピックス

お知らせ

1 アジア防災会合 (ACDR2020) : 新しい日常への適応 アジアからのアプローチ (仮)

ADRCスタッフ紹介

児玉 智恵子 管理部課長補佐

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<https://www.adrc.asia>

© ADRC 2020

●お知らせ

アジア防災会合 (ACDR2020) : 新しい日常への適応 アジアからのアプローチ (仮)

アジア防災センター (ADRC) は1998年の設立以来、さまざまな組織と協力して防災情報共有や人材育成活動を中心に、メンバー国の災害リスク軽減 (DRR) 能力の強化に努めてきました。その中でも、メンバー国間の情報共有とパートナーシップの強化を促進することを目的として、2003年以来アジア防災会議 (ACDR) を18回開催してきました。過去のACDRはメンバー国が主催する年次会議として開催されましたが、ACDR2020は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の状況を受け、初めてWeb上で開催されます。

仙台防災枠組 (SFDRR) の実施に向けたメンバー国の継続的な努力にもかかわらず、近年、自然災害による被害は増加しています。世界中の気象の激化は、特に新型コロナウイルスの感染拡大状況にも関連して、激化する気候変動をより考慮に入れた災害対応と防災戦略を実行することが緊急であることを示しています。

気候変動と新型コロナウイルス感染症の二重のリスクにどのように対応できるでしょうか。ACDR2020は、メンバー国の状況の共有を促進し、1) 災害リスク軽減 (DRR) 対策と激化する自然災害への挑戦、および2) 災害対応と新型コロナウイルス感染症対応策の2つのテーマに焦点を当て、今後の行動について議論します。

1. ACDR2020の構成

- (1) ACDR2020特設Website設置、レポート募集と公開 (9-10月)
- (2) オンライン会議 (10月20-22日)
- (3) 報告書

2. ACDR2020特設Website

9月にACDR2020概要案内、参加登録、レポート受付と公開用のウェブサイトをオープンします。

<https://acdr.adrc.asia/>
(9月15日公開予定)



3. ACDR2020オンライン会議

- 10月20日 開会セレモニー、基調講演
- 15:00 - 15:30 開会挨拶
- 15:30 - 15:40 記念撮影
- 15:40 - 17:00 基調講演

続き

10月21日 Session1：激化している自然災害への対応と課題について

気候変動等による災害の激化と脆弱性の高まりにより増大している自然災害の被害に対する新たな対処方法について議論します。

15:00 - 15:05 セッション紹介

15:05 - 16:30 プレゼンテーション

16:35 - 16:50 意見交換

16:50 - 17:00 まとめ、閉会

10月22日 Session2：新型コロナウイルス感染拡大下における防災対策について

新型コロナウイルス感染拡大下において、発生する自然災害への準備と応急対策のあり方について議論します。

15:00 - 15:05 セッション紹介

15:05 - 16:30 プレゼンテーション

16:35 - 16:50 意見交換

16:50 - 17:00 まとめ、閉会

4. オンライン会議後のとりまとめ

オンライン会議では現状の取組みと課題が提示され、会議後も特設ウェブサイト上で意見交換を継続し、最終的に各ペーパーを基に報告書を作成します。

●ADRCスタッフ紹介

児玉 智恵子 管理部課長補佐

4月1日付でADRC管理部の課長補佐として着任いたしました、児玉智恵子と申します。私は日本国内の様々な職場環境で、主に総務・経理に携わってまいりました。

前職の国際組織事務局では、所内の日常業務だけではなく、国内外の研究機関や政府関係者との連携調整業務、国際会議の後方支援業務、それらに付随する日/英での情報収集業務も経験いたしました。国際コミュニティと協調して信頼関係を築き、関係者の皆様が円滑かつ快適に業務を進められるようサポートする役割に大きな意義を感じておりましたので、ADRCの一員となるご縁をいただきましたことは、とても幸いでした。ADRCに勤務して4か月のうちにも学び多く、これまでの職務経験を生かすことのできる職場であると実感しております。

所内、国内外防災の研究者、業界団体、行政等々、関係者の皆様との連携を通して深い信頼関係を築き、求められる役割を果たしていくことで、ADRCの事業理念に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。